

○信越総合通信局長表彰

「電波の日」 (2個人)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
半田 志郎 (国立大学法人信州大学 特任教授)	永きにわたり信州大学工学部において、デジタル人材の育成に尽力されるとともに、信越受信環境クリーン協議会の会長として、信越地域のテレビやラジオの良好な受信環境の維持改善を先導され、電波障害防止に多大な貢献をされました。
丸山 活輝 (信越放送株式会社 技術局 技術部 テクニカルアドバイザー)	永きにわたり放送事業者の技術者として、山間部の多い長野県内における災害発生時にも、安心・信頼できる放送の確保に寄与されるとともに、総務省情報通信審議会作業部会委員として、放送中継回線の技術基準の策定に携わられ、新たな電波利用の促進に多大な貢献をされました。

「情報通信月間」 (2団体、1個人)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
株式会社ニューメディア 新潟センター (専務取締役 新潟センター長 河西 弘太郎)	地方公共団体と連携し、地域BWAの整備や地上デジタル放送の難視聴解消の施設整備を行い、新潟市における通信・放送環境の向上を図るとともに、災害発生時の情報伝達ルートの確保に多大な貢献をされました。
立科町 (町長 両角 正芳)	テレワーク事業に率先して取り組み、他の地方公共団体と連携して人材の育成、就労機会の提供に努めるとともに、ブロードバンド環境を活用したワーケーションを積極的に推進するなど情報通信を活用した信越地域の活性化に多大な貢献をされました。
浅子 秀樹 (一般財団法人LINEみらい財団 調査研究部 研究員)	多年にわたり信越管内の大学で、将来教職を志す学生に向けた講義を通じて情報モラル教育を支える多くの人材育成に寄与し、信越地域の情報化推進に多大な貢献をされました。

○信越電波協力会長表彰（2団体）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
株式会社オダステクニカ （代表取締役社長 高野 宏介）	永年にわたり佐渡島内で発生する放送施設の障害に対し、速やかに措置されるなど地域における放送分野の安定性 信頼性の確保に大きく貢献されました。
株式会社NTT東日本-関信越 長野支店設備部 並びに関係各社社員一同	令和3年8月の長野県豪雨における通信途絶地域に対し別ルートへのケーブル敷設により仮復旧するなど、迅速な通信孤立解消対応を行うとともに早期の伝送路冗長化により、災害時の通信確保に多大な貢献をされました。

○信越総合通信局長感謝状（2団体）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
第九管区海上保安本部 新潟海上保安部 （新潟海上保安部長 小野 雄介）	電波利用環境保護のための不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に協力されました。
長野県警察 安曇野警察署 （署長 西川 政雄）	電波利用環境保護のための不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に協力されました。

○「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞（1個人）

※信越関係分

（敬称略）

受賞者名	受賞の概要
佐藤 琴奈 （学校法人国際総合学園 新潟デザイン専門学校 2年生）	地元新潟を離れ、どこかに行ったとしても、常に結ばれ、繋がっているということを描いた映像作品「帰る場所は此処にある」が、地域発の特にすばらしい作品であることから、今後の創作活動が期待されると認められました。 ※ 本作品は「にいがたデジコングランプリ 2021」において信越総合通信局長賞を受賞しています。

※「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞

各地の総合通信局及び沖縄総合通信事務所は、クリエイターの育成や作品発表の場の提供、地域からの情報発信等を目的に、デジタルコンテンツに関するコンテストを開催・後援しています。総務省では、その中でも特にすばらしい作品を制作し、今後の創作活動が期待される方々に「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞を授与しています。

○信越総合通信局長賞（1団体）

「情報通信の安心安全な利用のための標語」（学校部門）

【別途発表】

<参考>

○信越電波協力会からの情報通信機器の寄贈（2団体）

信越電波協力会では、情報通信の普及発展を図る事業の一環として「電波の日・情報通信月間」を記念して、新潟県、長野県の福祉団体に情報通信機器を毎年度、寄贈しています。

（敬称略）

受贈団体の名称	寄贈機器
特定非営利活動法人きこえエール新潟 （理事長 前田 智子）（新潟市）	情報通信機器一式
長野県肢体不自由児者父母の会連合会 （会長 浅井 茂）（長野市）	情報通信機器一式